

拍のながれにのってリズムをかんじとろう

B

実践概要

様々なリズム・パターンの組み合わせ方について、このように作りたいという思いや意図をもち、様々なリズム・パターンの面白さに気付きながら、プログラミングによって試行錯誤することを通して、音楽表現を高める。

使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

「かなでてみよう」アパロンテクノロジーズ
「児童用タブレットPC（Windows）」

本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●前時までにリズムカードでつくったリズムとイメージを確認する。 ●本時のめあてを知る。 	○「にぎやかな感じのリズム」など、つくりたいリズムを想起させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●リズムづくりのポイントを確認する。 ●「かなでてみよう」を使ってリズムをつくる。 ●つくったリズムを発表する。 	○つくったリズムをモニターに映し、視覚的にもリズムを捉えられるようにする。 ★拍の流れを感じながら、反復や変化などの音楽を形づけている要素を理解し、まとまりのあるリズムをつくっている。【知】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の振り返りを行う。 	

ここに注目！（本事例のポイント）



ソフトを操作する前に、どのようなリズムにしたいのかイメージをさせ、繰り返しや変化を考えられるような設計図を作成した。



リズムだけではなく、楽器も選択することができたので、児童は自分のイメージに合ったリズムを作成することができた。